

2024年5月31日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通5-1-28
www.lilly.com/jp

EL24-17

既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎の治療薬 「イブグリース®」を新発売

患者の状態に応じて4週間隔で投与可能な注射剤

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)は、本日2024年5月31日、「既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎」を効能・効果として、抗ヒトIL-13モノクローナル抗体製剤「イブグリース®皮下注 250mg オートインジェクター」、「イブグリース®皮下注 250mg シリンジ」(一般名:レブリキズマブ(遺伝子組換え)、以下「イブグリース」)を新発売しました。

イブグリースは、アトピー性皮膚炎の中心的メディエーターであるIL-13に高親和性で結合するヒト化抗ヒトIL-13モノクローナル抗体です。IL-13受容体複合体(IL-4Rα/IL-13Rα1)の形成を阻害することにより、それを介したIL-13シグナル伝達を特異的に阻害し、アトピー性皮膚炎の病態形成を抑制します。

本剤はレブリキズマブとして、通常、成人および12歳以上かつ体重40kg以上の小児に対し、初回および2週後に500mg、4週以降は250mgを2週間隔で皮下投与しますが、患者の状態に応じて4週以降は250mgを4週間隔で皮下投与することが可能です。

日本イーライリリーの自己免疫事業本部長 ロータス・モールブリスは次のように述べています。「アトピー性皮膚炎は、臨床的にも生物学的にも多様性のある慢性疾患であり、患者さんそれぞれに合わせた治療を行うことが重要だと考えています。そのため、既存治療では効果が不十分な患者さんに対し、新たな治療薬としてイブグリースをお届けできることを大変嬉しく思います。また、イブグリースはアトピー性皮膚炎の注射剤としては唯一(4週以降、患者さんの状態に応じて)4週間隔での投与が可能な薬剤です。持続的な症状の緩和を必要とされている患者さんにとって、重要な選択肢の一つとなると考えています。」

以上

参考情報

製品概要

販売名	イブグリース®皮下注250mgオートインジェクター イブグリース®皮下注250mgシリンジ
一般名	レブリキズマブ(遺伝子組換え)
効能・効果	既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎
用法・用量	通常、成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、レブリキズマブ(遺伝子組換え)として初回及び2週後に1回500mg、4週以降、1回250mgを2週間隔で皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、4週以降、1回250mgを4週間隔で皮下投与することができる。
製造販売承認日	2024年1月18日
薬価収載日	2024年4月17日
発売日	2024年5月31日
薬価	イブグリース®皮下注250mgオートインジェクター 2mL×1オートインジェクター: 61,520円 イブグリース®皮下注250mgシリンジ 2mL×1シリンジ: 61,520円
製造販売元	日本イーライリリー株式会社

製品画像



イブグリース®皮下注250mgオートインジェクター



イブグリース®皮下注250mgシリンジ

アトピー性皮膚炎について

アトピー性皮膚炎は、体のあらゆる部位の強い痒み、皮膚の乾燥及び炎症を特徴とする慢性及び再発性の皮膚疾患です¹。アトピー性皮膚炎は、臨床的にも生物学的にも多様性のある疾患ですが、症状の表れ方も多彩であり、予測不可能な増悪を伴うことが特徴です²。他の慢性炎症性疾患と同様に、アトピー性皮膚炎は免疫が関わっており、免疫細胞と炎症性サイトカインの複雑な相互作用が関与しています¹。アトピー性皮膚炎患者さんは、睡眠、日常生活、社会生活に影響しうるほど不快な強い持続性の痒みをしばしば訴え、痒みによって掻いてしまうことで更に皮膚損傷を引き起こします³。

皮膚疾患に対するリリーの姿勢

リリーは、未知の領域の科学を追求することにより、アンメットニーズに応え、世界中の人々の生活に大きな影響を及ぼす革新的な薬を届ける伝統を継承しています。皮膚疾患は、皮膚表面のみの問題ではありません。リリーは、皮膚疾患が人々の生活にもたらす重大な影響を理解し、患者さんが制限のない生活を目指すことができるように、患者さんを中心に考えた革新的な解決策を提供すべく、皮膚疾患の強固なパイプラインの構築を追求します。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。日本の患者さんがより健康で充実した生活を実現できるよう、50年にわたり、科学に思いやりを込めて、世界レベルの革新的な医薬品の開発と供給を行っています。現在、がん、糖尿病、アルツハイマー病などの中枢神経系疾患、自己免疫疾患など、複数の領域にわたり日本の医療に貢献しています。<https://www.lilly.com/jp>

#

- 1 Weidinger S, Novak N. Lancet. 2016;387:1109-1122.
- 2 Langan SM, et al. Arch Dermatol. 2008;142:1109.
- 3 Yosipovitch G, et al. Curr Allergy Rep. 2008;8:306-311